

昭和こじょう会懐り

2009年12月 58号



発行：名古屋市高年大学鯨城会・昭和鯨城会

目次

表紙 (聖霊修道院)	後 藤 崇 (21期) 撮影	1
目次・表紙の説明	村 上 洋三 (20期)	2
特別寄稿	佐生美智子昭和保健所長	3
昭和鯉城会活動状況	総務委員会	4
行事予定	行事委員会	5
行事レポート 昭和鯉城会作品展	広報委員会	6~7
行事レポート 区民まつり	武 田 良 一 (22期)	8
行事レポート 福祉まつり	古 池 潜 (21期)	9
行事レポート 剪定ボランティア	広報委員会	9
行事レポート 歴史と文化の道散策	八 木 兼 雄 (22期)	10
行事レポート・津島神社とキリンビール	北 瀬 多賀子 (22期)	11
行事レポート・グランウドゴルフ交歓会	安 福 郁 子 (21期)	12
昭和鯉城会花壇情報	古 庄 建 治 (22期)	13
(自由投稿) ホタルの叢々	富 田 紘八郎 (20期)	14~15
(クラブ便り) 社交ダンス	奥 中 健 司 (20期)	16
(クラブ便り) リズム体操	辻 慶 明 (17期)	17
(クラブ便り) グランウドゴルフ	小 塚 浩 (20期)	18
短歌	中 島 正 義 (20期)	19
俳句	荒 川 巖 (16期)	19
掲示板・編集後記	広報委員会	20

～表紙の説明～

「聖霊修道院」

昭和区八事本町の聖霊幼稚園の南側に建つ修道院。昭和8年に秋田市から聖霊会本部がここに移された時建てられた。当時の建物は昭和17年(1942年)に焼失、昭和32年(1957年)に聖堂鐘楼棟が増築された。現在、この本部では、日本国内、海外から訪れた45名の修道女が、祈りを捧げながら宣教活動をしている。早朝のミサ聖祭は、一般の方々も参加して行われている。

文・昭和区案内人クラブ 村上 洋三(20期)

訃報のお知らせ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

森 博 様 享年82歳 (14期 生活A 松栄学区) 平成21年10月23日ご逝去

特別寄稿

健康雑話

名古屋市昭和保健所所長 佐生 美智子

昭和鯨城会の皆様には、日頃より保健所業務に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

深まりゆく秋と共に冬の到来も間近となりいよいよインフルエンザ流行の季節となって参りました。本年は例年の季節性のみならず新型が既に猛威を振るい、特に若年層においては基礎疾患がないにもかかわらず、死亡するケースが相当数報告されています。その他妊婦や基礎疾患を有する方もリスクが高いという事も証明されております。

今、国としては感染拡大を阻止するため、リスクの高い方から順番に予接種をスタートさせた所ですが、新聞等の報道によりますと、予防接種液製造課程でウイルスの増殖が思うように出来ず出荷量が少なくなっているという事ですので、希望されている人々の全てに行き渡るのは少々時間がかかりそうです。ではそれまでどうしたらいいの？という事に成るわけですが、正しい知識と行動で感染リスク軽減を図って頂くことが一番の方策となります。

- ・第一に感染ルートの遮断として、満員電車や多くの人が集まる場所はなるべく避ける。外出後はうがいと15秒位の手洗いの励行。
- ・第三に肺炎球菌や季節性インフルエンザの予防接種もお勧めです。
- ・第二に適度な運動とバランスのとれた食事等の日々の体調管理。

「ローマは一日にして成らず」の如く日々の健康習慣の積み重ねが充実した高齢期の実現に直結すると確信致しております。会員の皆様には是非人生の収穫期を十二分にエンジョイして戴きます様願っています。

もし、咳や発熱等の体調変化に気づいた時はすぐに医療機関受診を！……発症して48時間以内のタミフル服用は症状緩和が期待できます。また、咳エチケットとしてマスク着用を忘れずに！……これからの季節は高齢の方々にとりましているいろの病気のリスクが高まってきます。また、年齢と共に老化と疾病の境が不明となってきます。高齢者の健康観としては一病息災の精神で多少なりとも存在する色々の症状と折り合いをつけながら日々の生活を過してゆく事を良しとします。また、精神的には好奇心を失うことなく積極的にいろいろの事柄にチャレンジをしていくこと。この二つがポイントではないかと思う次第です。

昭和鯉城活動状況

平成 21 年 8 月期

1 日(土)	福祉まつり実行委員会出席(日程変更 富永)
7 日(金)	8 月 役員会・委員会開催
8 日(土)	グリーンマップ作成打ち合わせ会(6名参加)
18 日(火)	まちづくり打ち合わせ会(区役所 富永参加)
26 日(水)	荒畑クリーンパートナー(6名参加)
27 日(木)	『昭和こじょう会便り』編集会議(広報)

平成 21 年 9 月期

5 日(土)	福祉まつり実行委員会(富永)
11 日(金)	定例役員会『昭和こじょう会便り』57号製本作業
12 日(土)	グリーンマップ作成
25 日(金)	定例行事 文化のみち散策(13名参加)
26 日(土)	グリーンマップ作成(4名参加) 福祉まつり会場設営(8名参加)
27 日(日)	福祉まつり(土鈴絵つけ・陶器販売28名参加)
28 日(月)	鯉城会主催 グラウンドゴルフ交流会(鶴舞公園)15名参加)
30 日(水)	荒畑クリーンパートナー(雨天中止)

平成 21 年 10 月期

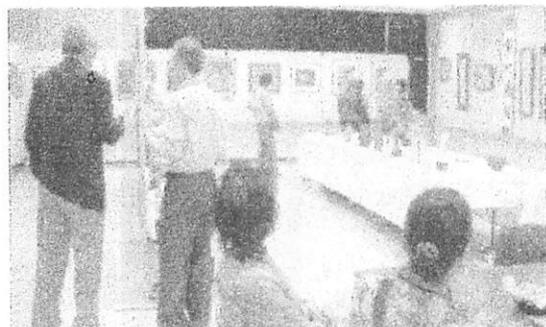
9 日(金)	定例会議 役員会・委員会
10 日(土)	グリーンマップの作成(山崎川に入って調査)
18 日(日)	昭和区民まつり(土鈴絵つけ・陶器販売18名参加)
21 日(水)	荒畑クリーンパートナー(7名参加)
21 日(水)~23 日(金)	車椅子付添ボランティア(毎日3名)
22 日(木)~23 日(金)	なごやかハウス福原(庭木剪定延べ20名参加)
26 日(月)	趣味の作品展 会場設営・作品搬入 13名参加
27 日(火)~29 日(木)	作品展(来場者219名)
30 日(金)	荒畑花壇(植え替え作業 3名参加)
31 日(土)	名古屋市主催(隼人池の池干し6名参加)

第7回昭和鯨城会「趣味の作品展」開く

広報委員会

昭和鯨城会恒例の趣味の作品展が、平成21年10月27日から29日まで昭和区役所6階で開催されました。

今回は、55人から74点(連鶴は1点としました)が出品され会場には、昭和鯨城会会員の力作がびっしりと展示され会場が狭く感じる迫力ある作品ばかりでした。



期間中の鑑賞者は、219名で、芳名録をみると他地区の鯨城会所属のご記名が、昨年より増加傾向にあり昭和鯨城会の会員数216名ですから身内へのPRが上手くいけば、もっと増えると思われます。

作品	作品名・題	出品者	期・学科	学区
写 真	白山のご来光 (2009・8・15)	下谷 千世子	12文化A	松栄
	白山の花 シシウド			
	飛驒の故郷 (ひだのふるさと)	稲田 昌也	17環境	御器所
	(青森) ねぶた祭り	片山 咲枝	17福祉	広路
	(山形) お釜			
	白い妖精1 (鬼無里)	市之瀬 威	18環境	伊勝
	白い妖精2 (鬼無里)			
	滝二題 (I) (静)	小林 久江	18健康	広路
	滝二題 (II) (動)			
	兄弟 仲良く	余語 司郎	19福祉	八事
	朝焼け1 美瑛	大館 貞壽	20生活B	川原
	朝焼け2 美瑛			
	早春 (白馬村)	市之瀬 克代	20陶芸	伊勝
	いずれ「あやめ」か!	富田 紘八郎	20陶芸	広路
	雨にもめげず!			
	黄葉 (上高地)	近藤 誠男	21生活B	村雲
	夢の跡 (岐阜 岩村)			
	5月の濁沢ルート	後藤 崇	21地域	広路
	雲 湧く	清水 敏宏	21文化B	松栄
淡水河 (台北)	武田 良一	22健康	鶴舞	
陶 芸	窯変結晶輪花鉢	廣江 昭二	5陶芸	伊勝
	木の葉皿			
	花器	山口 護	13陶芸	御器所
	茶碗			
	抹茶碗	荒川 巖	16文化B	川原
	水指			
	花器	小川 幾敏	17陶芸	広路
	水指	原田 田鶴子	17生活B	白金
	茶碗	桜井 建郎	18陶芸	八事
	花入			

作品	作品名・題	出品者	期・学科	学区
陶芸	茶碗	篠田 敦子	18生活A	川原
	花入れ			
	花器	市之瀬 克代	20陶芸	伊勝
	壺(灰釉)	佐藤 邦利	22陶芸	御器所
	花器			
	壺	古庄 建治	22陶芸	広路
水彩画	紫陽花	谷口 千鶴子	14文化B	八事
	郡上八幡	勝野 弘之	15文化A	鶴舞
	人形	杉本 仁	18美術	吹上
	さくらんぼ			
	初夏の準人池	奥中 さと子	20生活B	川原
	鯉の風景	奥村 勇夫	20美術	白金
	松本城	山内 さち子	21美術	滝川
	万緑の湯の山	服部 邦子	21美術	滝川
油彩画	足助川と百年草	祖父江 重孝	10文化B	白金
	静物	山口 順子	14文化A	八事
	彩果	岩竹 秋子	20美術	松栄
パステル画	快適	岩竹 秋子	20美術	松栄
	静物	後藤 昇三	18美術	伊勝
クレパス画	セントラルブリッジ	渡辺 晴朗	20美術	鶴舞
水墨画	行雲	山本 慶治郎	17文化A	広路
日本画	春の頬笑み	高木 睦	14生活A	鶴舞
	奥の院への道 八事興正寺	岡田 和雄	15文化B	八事
書道	四言句	粟田 龍彦(瑞泉)	9園芸	川原
	仁義			
	晚翠の詩	瀬古 嘉子	12園芸	鶴舞
	花意竹情			
	賀蘭汗造像記(臨書)	水野 美子	14文化B	滝川
	さくら散る	市村 とよ子	15生活A	広路
	関戸本古今集より おみなへし	佐治 正夫	16文化B	広路
	草木国土悉皆成仏	古池 潜	21陶芸	滝川
	守破離	高木 弘二	22園芸	広路
拓本	拓本一題	神田 史郎	17文化B	広路
版画	Hydrangea	佐藤 重二	18文化A	川原
短歌・俳句		石橋 政雄	17環境	広路
敷物	色あそび	高瀬 みちよ	13生活B	広路
刺繍	テーブルクロス	国松 篤美	14健康	八事
パソコンアート	パソコン加工 クロステッチ	伊藤 敬子	19福祉	白金
	水彩画 コスモス			
アートフラワー	バラ	森 セツ子	20福祉	広路
ビーズ織り	少女	馬嶋 静子	22健康	伊勝
折紙	つなぎ折鶴	遠藤 久子	18生活B	御器所
		大野 敏博	18国際	川原
		佐々木 久子	18文化B	御器所
		酒井 昭彦	19福祉	御器所

行事レポート

昭和区民まつりに参加

22期(健康) 武田 良一

- 日時:平成21年10月18日(日)午前10時～午後3時
- 場所 鶴舞公園



秋晴れに恵まれ、河村市長はじめ来賓関係者多数出席されお祝いの一日でした。

特に鶴舞公園は開園100周年(明治42年設立)を迎え目出度い年が重なり、

市民が育てた「みんなで つくる 百彩花壇」も完成し、非常に多くの人・人で、入園者も1万人(推定)を超えていた。

我々昭和鯉城会も公会堂の正面にブースを設け参加し、富永会長はじめ10名出席。全員が作った土鈴や陶器の販売をした(なんでも¥100)。特に土鈴の絵付けには外国人(母と娘)も参加し、販売時間も40分程延長したが、可哀そうに数人の子供を断ってしまった。また、陶器の販売も机を並べかけた時点(9時30分)で売れ始め、10時開店に来たお客さんから苦情を受けた。土鈴76個、陶器77個の売上が、¥15,300でした。会員皆様のご協力本当に有難うございました。



行事レポート

福祉まつり

21 期（陶芸） 古池 潜

福祉まつりは例年8月に開催されるが、今年は衆議院選挙が8月30日に行われた為一か月ずれて実施された。9月26日午後から『福祉まつり』の準備を開始し会場の放置自転車を撤去・テント張り・展示用机・椅子等を配置、2階に上がり提灯吊り等を手伝い完了しました。

27日は朝9時に会場に集合し土鈴絵つけの準備と提供を受けた陶器や布製品の小物を配置、全て100円にて頒布することにした。又、色紙で紙風船を作成子供達の嬉しいお土産となった。10時から開会式があり10時30分から参加各団体が模擬店を開店し、福祉まつりが始まりました。初めは陶器売場にお客さんがくるが、土鈴の絵つけには近寄らず暇でしたが後になって絵つけの方が忙しくなった。午後2時に閉店となり、土鈴絵つけと陶器で売上は8,000円程度になりました。後片づけし午後3時に終了しました。

剪定ボランティア

10月22、23日に「なごやかハウス福原」の植木の剪定が栗田龍彦顧問(9期・園芸)の指導で行われました。参加者は、二日間で延べ20人、3グループに分かれて作業を進めていきました。昭和鯨城会では、6年前から「なごやかハウス福原」の植木の剪定を行っています。天候の心配はなかったものの、剪定する木が多く、また木が成長して背が伸び高所での作業が年ごとに増えて安全に気をを使うそうです。



陣頭指揮の栗田さん



刈り取った木や枝ゴミ袋50個になった

行事レポート

歴史と文化のみち巡り

22期 (福祉) 八木 兼雄

9月25日(金)初秋爽やかな天気、地下鉄高岳駅改札口10時集合「歴史と文化のみち巡り」に出発。文化のみちには、名古屋城から徳川園に至る範囲(区域)内に昔の面影を残す建物や貴重な遺産が残されており保存活用がされています。

先ず、一行は7月17日修理工事を終えオープンした文化のみち榎木館を訪れた。当館は、陶磁器商井元為三郎が大正末期から昭和初期に建てた邸宅です。敷地300坪は、和・洋館、蔵二棟、茶室、庭園からなり現在は、市の有形文化財・その他等に指定されています。敷地内の隅々まで見学して二葉館に移動。

文化のみち二葉館は、開館5年目「日本の女優第一号」と名をはせた川上貞奴が当時電力王と呼ばれた福沢桃介と共に過ごした処で、二人に関する資料、展示物が居間として使っていた和室に公開されていました。

赤い瓦葺屋根の館は「二葉御殿」と呼ばれていました。両館共、和洋折衷の建物、館内は大正から昭和初期の名残を留めていました。

建中寺、徳川園と巡る途中その昔中・下級武士の屋敷門が現存し、その敷地内に立派なマンションが建っていた。

建中寺は、慶安4年(1651年)第二代尾張藩主徳川光友が父藩祖(主)徳川義直の菩提を弔うために建立した。創建当時は、4万8千坪の境内で第二次大戦後の区画整理などで縮小しており、かつての寺域は、東区役所、東海中・高校、あづま中学そして筒井小学校などとなっている。ちなみに正式名は、浄土宗徳興山崇仁院建中寺で、ご本尊は、阿弥陀如来、総門など8つは文化財。

次は徳川園、国宝の「源氏物語絵巻」を所有する事で有名な徳川美術館・名古屋市蓬左文庫と日本庭園。元禄8年(1695年)に造営された尾張藩二代藩主徳川光友の隠居所の徳川御屋敷跡地。時は、流れ平成16年に築造された池泉回遊式の大名庭園で配置された山、徳川御屋敷の瀧、溪流、龍仙湖、牡丹園、菖蒲田は、それぞれ濃尾平野に見立てられたもので四季折々の表情がある。

又瀧門の瀧は、尾張藩江戸下屋敷戸山荘跡(現在早稲田大学戸山キャンパス)から発掘された龍門の龍の遺構から移設したものである。

園西側の黒門は、明治22年に建立された樗づくりの三間薬医門であり、戦災を免れた徳川邸の遺構を手でさすり屋敷跡を後にする。



行事レポート

津島神社散策と麒麟ビアパーク見学

広報委員

実施日 平成 21 年 11 月 6 日(金)

1. 津島神社 参加人員 14 名(男 10 名・女 4 名)

10 月を思わせる晴天で、10 時過ぎ名鉄津島駅に到着。津島ボランティア 4 名の方に迎えて戴き、「織田信長は、勝幡(愛西市)に生まれ、津島市の人口は、現在約 66 万人で津島神社の門前町・湊町として室町時代から繁栄し、寺院が非常に多いところである。」と言われ、千体仏(市指定文化財、円空作 1673~81)観光交流センターでは登録有形文化財(建造物)のビデオを観賞した。又、天王川公園は、日本歴史 100 選に選ばれ、桜祭り・藤祭り・天王祭り(宵祭りと朝祭りがあり国指定重要文化財)が有名⇒上切の井戸⇒道標⇒氷室作太夫住居⇒車河戸⇒天王川公園⇒堀田家住宅(国指定文化財)⇒津島神社(御祭神建速須佐之男命・御相殿 大穴牟遲命(大国主命)・国指定文化財(神社本殿、神社桜門)・天王社の総本社で、全国に約三千の分霊社がある。)⇒南門の控所で昼食⇒大銀杏(県指定天然記念物)⇒津島駅に帰りました。

2. 麒麟ビアパーク名古屋(清州市寺野花笠 100)参加人員 13 名(男 9 名・女 4 名)

工場創業当時 1962 年(昭和 32 年)5 年後 3 月に醸造工場を見学施設にリニューアルされ敷地面積は、二十六万平方メートル(名古屋ドームの 5.5 倍)である。

- ① 製麦(麦芽室で良質な二条大麦に水をたっぷり含ませ発芽させ、乾燥室に入れ成長を止め、根の部分除去する。)
- ② 仕込み(仕込み釜で砕いた麦芽と湯を糖化槽に入れ、副原料(米、コーンスターチ等)を加えて、でんぷん質を糖分に分解。麦汁を作りホップを加えて煮沸する。)
- ③ 発酵(発酵タンクで十分に冷やした麦汁に酵母を加え、低温発酵。約一週間でビールが誕生する。)
- ④ 貯蔵(貯蔵タンクで 約0℃、一か月～二か月低温貯蔵)
- ⑤ ろ過(ビールをろ過機に移し、酵母やタンパク質を取除くとビールが出来上がります。)
- ⑥ 缶詰め(洗缶機で缶を洗浄し缶詰機でビールを詰め、空気が入らないように蓋をし缶締めをする。)
- ⑦ 印字・検査(底に製造時間や X 線によって入味量の検査を行う。)
- ⑧ 出荷(愛知県・岐阜県・三重県・長野県・静岡県の一部)

当日は、点検の為製造工程は見学できませんでした。品質へのこだわり、温暖化防止、再資源化への取組み、水へのこだわり、省エネ・省資源への取組みがなされていました。



説明を聞く参加者 (津島神社)

行事レポート

鯨城会グラウンドゴルフ 第2回交歓会に参加して

21 期(文化) 安福 郁子

9月28日(月)鶴舞陸上競技場、曇り空、ほどよい風、絶好のグラウンドゴルフ日和、各学区から集まった愛好者220余名。

A.M.9:30、日比野大会副会長の司会で、会長塚原氏、顧問秋山参与、実行委員長黒岩氏の挨拶とルール説明がある。

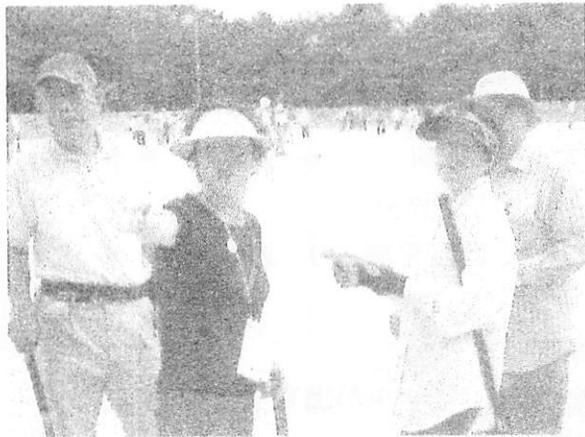
渡された競技グループ表によりA、B、C、Dのゾーンに別れて集合。1チーム7名、各ゾーン8チーム、合計32チームで競技が行われた。

Aゾーンの1番より塚原会長の始球式でスタート。



開会式(鶴舞陸上競技場)

我がチームは、男4名、女3名、簡単に自己紹介をして試合開始。ところが、土がふわふわでボールは沈むし、走らない・・・で悪戦苦闘、大騒ぎをしながら1ゲーム終了。水分補給のため、休憩。



2ゲーム目は、Bゾーンに移動。多少、要領は解ったものの思うようにならない。それがこの競技の面白さでもあるのだが・・・。スコアラー(得点を書く人)もいないので皆協力し合う。

終わってみれば、わがチームは似たり寄ったりの得点。楽しかったねと皆笑顔。各ゾーン毎に3位まで表彰。2回合計34点(ホールインワン2回)、

どんな悪条件でもこの成績、脱帽!! 再会を約して解散。



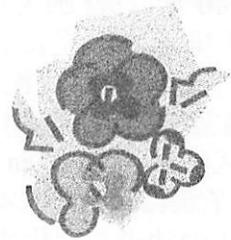
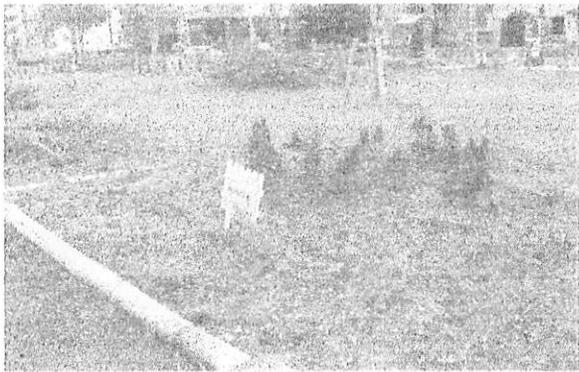
昭和鯨城会花壇情報

広報委員 古庄 建治

昭和鯨城会の花壇管理は、下記の2箇所ありますので、本誌上にてご案内いたします。昭和鯨城の案内看板が設置されています。

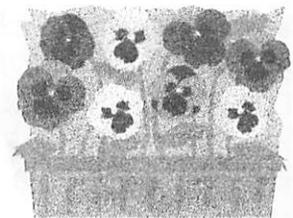
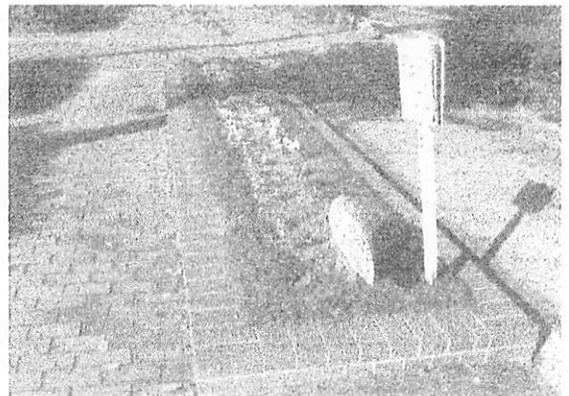
① 川名公園(南東側・・・2箇所)

この花壇管理は、広路学区を中心に伊勝学区・八事学区の人たちが、植替えや草取り・水やりと頑張っています。



② 瑞雲寺保育園前(山王通り・・・2箇所)

富永会長を中心に御器所学区の人たちが植栽管理を行っています。年間3回程度の苗の植替えや草取り・水やりと頑張っています。



ホタルの叢々(3)までは、ホタルの生態等を中心に記してきたが、最後に『なぜホタルが身近に見られなくなったか?』を考えて見たいと思う。日本には「50種の蛍」が生息しているが、このうち幼虫期を水中で暮らす種は『3種』であり、他は陸上の落ち葉のなかで生活している。

幼虫期を水中で過ごす3種のうち、「NPO 祖父江のホタルを守る会」が調査しているヘイケホタルについて、判った事項を中心に記してみたい。

1)水質について

巷では、「水質の悪化でホタルが生息できなくなった」と言われている。ホタルは50種、幼虫期を水中で過ごすのは、3種(源氏ホタル・平家ホタル・クメジマホタル)であり、他の47種は幼虫期を陸上で過ごすため水質に関係しない。

調査している『祖父江のヘイケホタル』は、昭和40年ごろまで湿田での稲作を中心とした水田地帯であったのでホタルはたくさん見かけられた。

稲作(水田)に灌漑する方法は従来、用・排水兼用の小川であり、上流部に水を入れ、残った水を下流に流しせき止め再利用し稲作農業が行われた。昭和40年以後『圃場整備事業』が行われ、灌漑用水と排水は完全に分離する農地整備が行われた。これと同時に『湿田であった水田が乾田化され農業機械化・効率化』が図られた。



昭和40年当時の農村原景

水田の区画は、「約30m×100m」を基本として整備され、農作業に必要な幹線道路は、約200mの格子状に配置しアスファルト舗装し、道路に付随して電柱・街路灯・灌漑用水路が整備され、ホタルの幼虫が羽化する草叢が少なくなった。畔道や排水路は、水田の中央部に集められ、排水路はコンクリート護岸の構造に変えられ草叢が少なくなり、さらに幼虫がコンクリートの壁面を登り草叢へ這い上がることが難しくなった。

灌漑水は木曾川の水を利用し、開水路や地中に埋設された導水路から、用水路に分水され水田に灌水、余った水は一般河川に放流される。現状を見ると「平家ホタルの生息する水田」の水質が悪化したとは考えにくいものになります。この事業が完成したことにより、水の管理が充分にできるようになり、「稲作に必要な時期に必要な水量」を供給するシステムが完成し、稲作に不要な時期は水がなくなり、水生生物の生態系にも変化が生じた。

2)住居環境について

1)でも記したように圃場整備事業が完成により、幹線道路は街路灯が設置され、田圃地帯全体が明るくなってきた。更に道路はアスファルト舗装、コンクリート造りの用水路等が設置され、『ホタルの幼虫が蛹・羽化できる草叢』が少なくなった。

これに追い討ちをかけるように、少し残った草叢に除草薬が散布され、『蛹・羽化に条件の整った湿った草叢の喪失』を招いた。ホタルの幼虫が『蛹・羽化の場所』を少なくしたことによる生育環境が悪化し、ホタルの成育が少なくなったと思われる。

更に成虫に成っての『求愛活動』も、街路灯の設置に伴い周辺が明るくなり、生殖活動の範囲が狭められた。街路灯中心に周囲50m付近は、地域全体が明るくなった事により『求婚相手を探す』ことが出来なくなり、街路灯設置後2~3年経過するとその地域は生息数が減少傾向になっている。

更に、農村部でも農地転用が進み水田の埋め立て、住宅化・工場化が進んでいる。この宅地化に伴って、生活雑用水が排水路に流れ込み、悪臭を発する「どぶ川化」していった。排水路の環境悪化は、ホタルの幼虫が成育する環境の悪化につながっている。

地域下水道の完備・農村集落下水処理・自家浄化槽設置などにより、雑排水の水質環境は改善が見られる。工業用水等の揚水規制が実施され、木曾川の伏流水が多い祖父江地域は、地下水位の上昇により、排水路の底部より『自噴水』が見受けられるようになった。

地域下水道・農村集落下水の整備完了地域では、排水路の水質改善が図られ『日本メダカ・モロコ・ドジョウ・ナマズ等』が確認されている。このように幼虫期の生育環境条件が改善されたことにより、一部の地域では、ホタルの復活が確認されてきた。

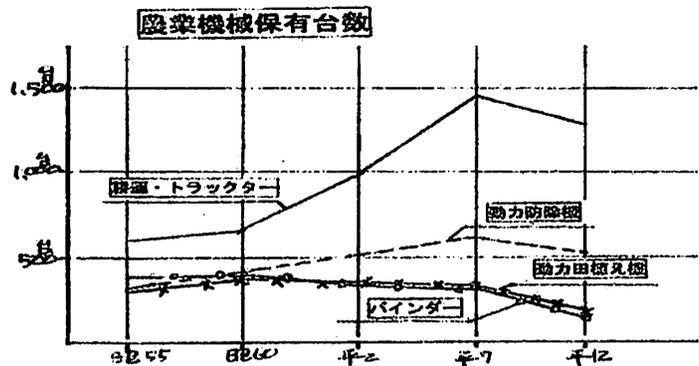
3) 稲作作業の変化

昭和 40 年頃まで稲作農業は、鍬・鋤等を用いた人力作業が主流であった。この地域は、湿田が多く稲が刈り取られた後の冬季に鍬を用いた、「タクネ」が行われ菜種等が植え付けられた。一種の堀田であり、土を盛り上げた所で裏作物を栽培し、堀の部分は常時水が蓄えられていた。40 年を過ぎた頃より、機械化の動きが盛んになり、脱穀機・耕運機等の導入が図られ、農作業の機械化がはかられた。

昭和 40 年以後、『農業用排水路・水田の乾田を目的』とした圃場整備事業が進み、更に農作業の機械化が推進された。乾田化し「堀田による作つけ」が不要になり、裏作物の栽培が可能となり、「回転ローターを用いた耕運機」が導入され、その後乗用型のトラクターの開発に伴い「稲作の委託農業」が盛んになってきた。

平成 15 年農林水産省の調査によると、20a 当たりの水田農耕時間は、個人耕作労働延べ時間は 9,550 時間、稲作の委託農業による機械化された労働時間は、3,400 時間となっている。最近では導入される機械類も大型化しており、耕作労働時間は更に少なくなっている。

「稲作の委託農業」が進んだ結果、畦・農道の「のり部分」の維持・管理等は、鎌を用いての草刈作業が、除草剤の散布に変わり、農作業は人手をたよらない『機械化・化学薬剤』を用いた作業に変化してきた。農業従事者は、高齢化・労働力の減少により農地が耕作し難くなり、作付け種類の多様化・温室栽培の増加・宅地・工場敷地が進み『耕作放置された田・畑』が見受けられるようになった。



4) あとがき

生物は、生命サイクルのなかで生存しているが、生育環境が変わると、生育環境図でしめした、『生存に適した小さな領域』でしか生存できない。水田に水が無くなる事により水生生物の環境が変わり、ホタルの幼虫の餌となる「ものあらい貝・姫タニシ等」の生育環境が変わってくる。農業用・排水路がコンクリート構造に変わる事により、幼虫が羽化する『湿った草叢』が無くなる。道路・街路灯の設置により、『成虫が蛍光を発して交尾する』機会が少なくなる。環境が変化すると、小さな野生生物の生育環境も変化し生育できなくなる。私達が求めた『経済と能率を第一に追求する』手法でなく、『人間の環境整備と他の生物が共存できる』環境のバランスを取りながら、生活環境と社会資本を整備する必要がある。

昭和鯨城 社交ダンスクラブ ニュース

クラブ代表 15 期(健康) 奥中 健司

11月1日現在、会員数は22名(男性11名・女性11名)になりました。ダンス歴の異なる人達の集まりですが、指導経験豊富な松浦先生のもと、ワルツ・タンゴ・ルンバ・チャチャのステップをミッチリ練習しています。

会員からの希望があり、9月20日に臨時総会を開催し、11月(第10回例会)より例会を第1・第3日曜日の午前中の月2回に変更し、より充実した活動が出来るようになりました。

例会増加を機会に、会員の増強を図り、会の目的を達成すべく前進したいと考えています。以下の要綱にて会員を募集していますので、昭和鯨城会会員皆様・お友達をお誘いし、多数参加されることを希望します。

会 員 募 集



名 称:「昭和鯨城 社交ダンスクラブ」略称「昭和ダンス」

会員構成:昭和鯨城会員で入会希望者

会員数に余裕があり、友人等昭和鯨城会員以外でも入会可能。

例会会場:昭和スポーツセンター 軽運動室

原則として月2回 第1日曜・第3日曜の午前中(9:00~12:00)

(会場抽選の結果、中止の場合もあり)

会 費:3ヶ月 ¥3,500(入会金 ¥1,000)

ダンス指導者:松浦敏子先生 愛知県社交舞踏教師協会会員

名古屋市中高年ダンス教室講師

レッスン内容:初級のフィギュアでダンスの基本を習得する。

初級の方も・上級の方も楽しめます。

入会の申込先:代表 奥中(事務局)まで 電話:752-0522

昭和鯨城リズム体操クラブニュース

会長 17 期 (国際) 辻 慶明

今年 8 月頃西川先生より報告があり、来年 3 月 11 日(木)に池田先生の指導する鯨城会 OB 体操グループによる発表会を「千種スポーツセンター」にて行われます。ついては、西川先生から問い合わせがあり、役員会に図り参加する事になりました。私たちの演目は、日頃練習している中から「風呂敷体操」「炭鉱節」「きよしのズンドコ節」が決定しました。

演目によっては慣れた人はスムーズに踊れますが、新しい 20 期以降の人は初めてということもあり、とまどいもあると思います。女性は動きがしなやかで覚えも良いのですが、男性はぎこちなく不器用なので西川先生、大塚先生の叱咤激励の声も時には大きくなります。それは誰か他の人の事とスマシ顔で一生懸命踊っています。残り、半年ほど練習期間がありますので、きっと上手になっている事と思います。

楽しんで元気一杯発表会に出場しましょう。



さて 今年度の 親睦会を 10 月 28 日(水)に開催致しました。何と 113 名の方が出席されて賑やかに行う事が出来ました。100名が、一同に集える場所をと大野副会長が 会場探し 下見、 交渉等 何度も足を運んで頂き今池のガスビル内の「ガス燈」に決めました。地下鉄からの便利もよく皆さんに喜んで頂きました。会場はテーブル15で1テーブル 8 人掛け、以前の親睦会についてのアンケートの結果を参考にして 椅子席にして 班別に着席して頂けるよう配慮致しました。大野さんの司会で始まり近藤顧問に乾杯の音頭をとっていただき料理は、日本料理で温かい料理が程好い間隔で運ばれ談笑の輪の中 酒を酌み交わしながら 幾つもの対話の花が咲いていました。宴たけなわの中 ビンゴゲームが始まり、大矢事務局長の司会で全員に景品が当り 笑いや歓声に 年も若返り楽しいひと時を過ごしました。14 時 20 分頃田中監査役の中締めの名残を惜しみながら無事終了致しました。

今回の親睦会の為尽力下さった副会長の酒井さん 大野さん 事務局の 20 期の桑原さん 森さん 小川さん 21 期の大矢さん 山田さん 吉田さん本当に有難う御座いました。

クラブ便り

グラウンド・ゴルフクラブニュース ～第2回鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会～

20期（国際）小塚 浩

去る9月28日（月）鶴舞公園陸上競技場にて 223 人の参加希望者があり、当日欠席された方もみえましたが、お天気にも恵まれて、楽しい一時を過ごしました。

我が昭和鯨城会からは、14名参加、力いっぱい？楽しい？時を過ごしました。

昭和鯨城会からの参加者（順不同敬称略）

春日井正幸	山本きぬ子	光崎 俊男	大鹿 文義	近藤 清晴
渡辺 忠	佐治 正夫	荒川 巖	辻 慶明	大野 敏博
中岡 正道	古澤 良蔵	小塚 浩	安福 郁子	

第3回の鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会は、平成22年3月15日（月）の予定で準備を進めています。ぜひ初めての方もふるって参加を！！

尚、月例会は、毎週火曜日9時30分より吹上高架下ミニスポーツ広場で開いています。ぜひふるって参加を！！



ホームグラウンドのミニスポーツ広場



グラウンドゴルフ

で若さと健康を！！

永田 祐千 871-9537

小塚 浩 882-3981



短歌

二〇期(文化)中島 正義

味噌汁の香りほのかに匂いきて

朝の眠気をふんわりはらう

両腕を湯船にふんわりと浮かばせて

明日のことは明日考ふる

いつまでも元気でいると思いきめ

春の頁に予定書き込む

特別のときめきもなく日捲りの

表紙破りて年の始まる

葬儀場を朝夕通る道に見て

亡くなることに徐徐に馴れゆく

俳句

一六期(文化) 荒川 巖

静けさや廢墟の夜にホーホケキョウ

届きたる友の絵手紙すみれ咲く

癌消えてまだまだ登る八十路坂

春風に期待ふくらむランドセル

春の宵一人静かに緑茶飲む

天空を薄くれないに花の雲

貝拾い童はしゃいて海うらら

育ちゆくひ孫の笑顔チユーリップ

三匹の子犬戯むる草若葉

寒の入り小花凜凜しく水仙花

掲示板

昭和鯉城会入会説明会について

23期生の入会説明会

2月3日(水)昭和区の在校生数は 26名

24期生への説明会

1月20日(水)昭和区の在校生数は 42名。

編集後記

日本経済のデフレ宣言が政府より発表され、物の価格が下がることは、年金生活者にとって良いことである。一方では、賃金が上昇しないと世の中の景気が良くならない。政権交代した与党に正しい政策を打ってもらい、早急に軌道修正して景気回復を図るように国民は期待している。

鯉城だより58号の発行から22期を中心に制作・編集するようご指示があり、インターネットを楽しんできたパソコン知識では、なかなか思うように行かなかったが、先輩のご指導により、発行に漕ぎ付ける事が出来ました。しかしながら、若干出来ばえが心配ですがお許し頂きたいと思えます。

投稿戴きました皆様に感謝申し上げますと共に、今後共、皆様方のご投稿とご指導・ご協力の程よろしくお願い致します。

昭和鯉城会会報 『昭和こじょう会便り』 58号

発行責任者 冨永 武義

編集委員

◎後藤 崇 日比野 勝 松村 照子 安福 郁子

吉田 圭子

古庄 建治 船橋 秀之 高木 弘二 北瀬 多賀子

坂野 節子